

# 令和3年の交通事故統計分析結果

掲示用

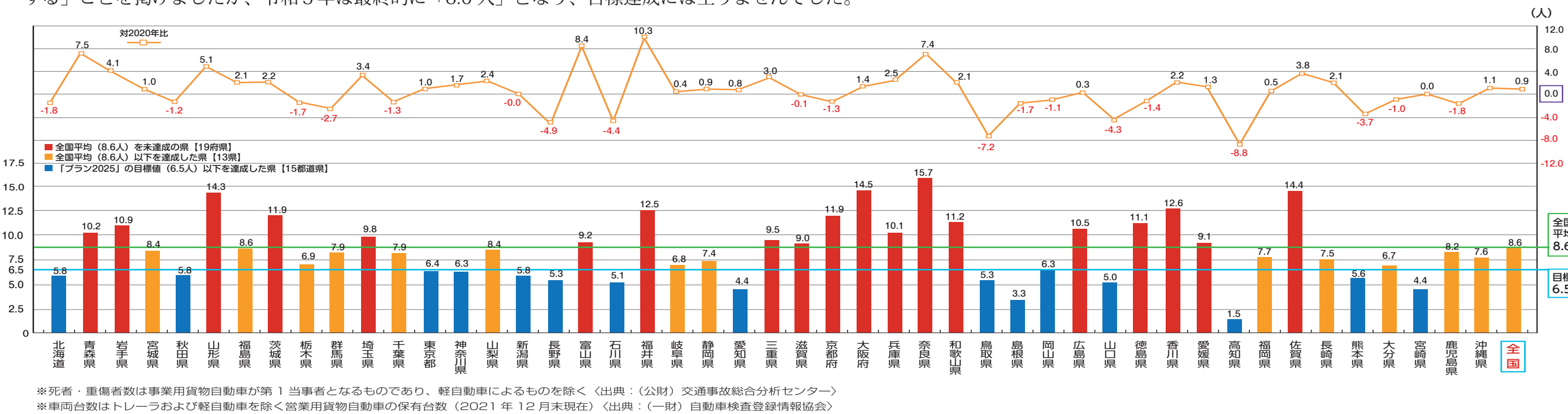
## 【車籍別】事業用トラックを第1当事者とする死亡・重傷事故

対象は事業用貨物自動車(軽を除く)が第1当事者となる死亡・重傷事故。なお、「車両相互」での第2当事者となる「車両」には道路交通法上の「軽車両」である「自転車等」を含む

国土交通省がトラック運送事業における令和7年までに達成すべき目標値を「総合安全プラン2025」として公表したことを受け、全日本トラック協会では、「トラック事業における総合安全プラン2025」を定めて令和7年度までの目標を設定。この達成を目指して各種事故防止活動に取り組んでいます。

### ◆「トラック事業における総合安全プラン2025」目標値：車両台数1万台当たりの死者数と重傷者数の合計

「プラン2025」における各都道府県(車籍別)の共有目標として、「事業用トラック(軽貨物を除く)を第1当事者とする死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台当たり『6.5人以下』とする」ことを掲げましたが、令和3年は最終的に「8.6人」となり、目標達成には至りませんでした。

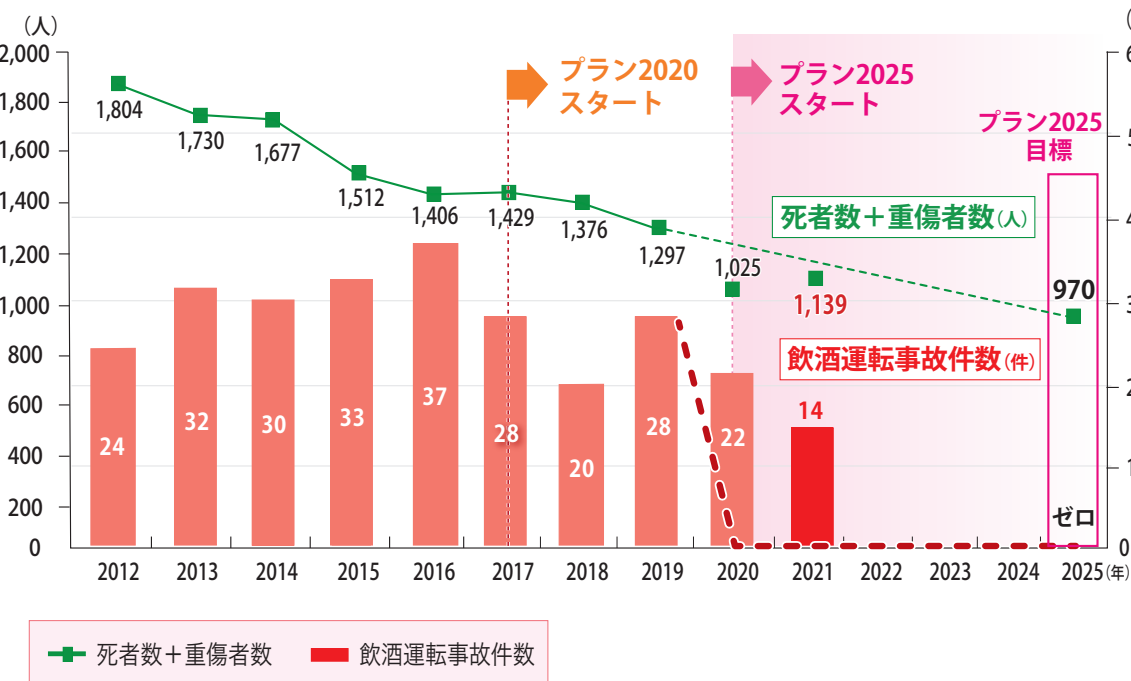


### ◆「プラン2025」数値目標と現況

令和3年中の死亡・重傷事故の合計件数は1,065件、死者数・重傷者数の合計は1,139人で、「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標である「970人」は未達となっている。

事業用トラック1万台当たりの死者数と重傷者数の合計は8.6人で、目標である「6.5人」を2.1人上回った。

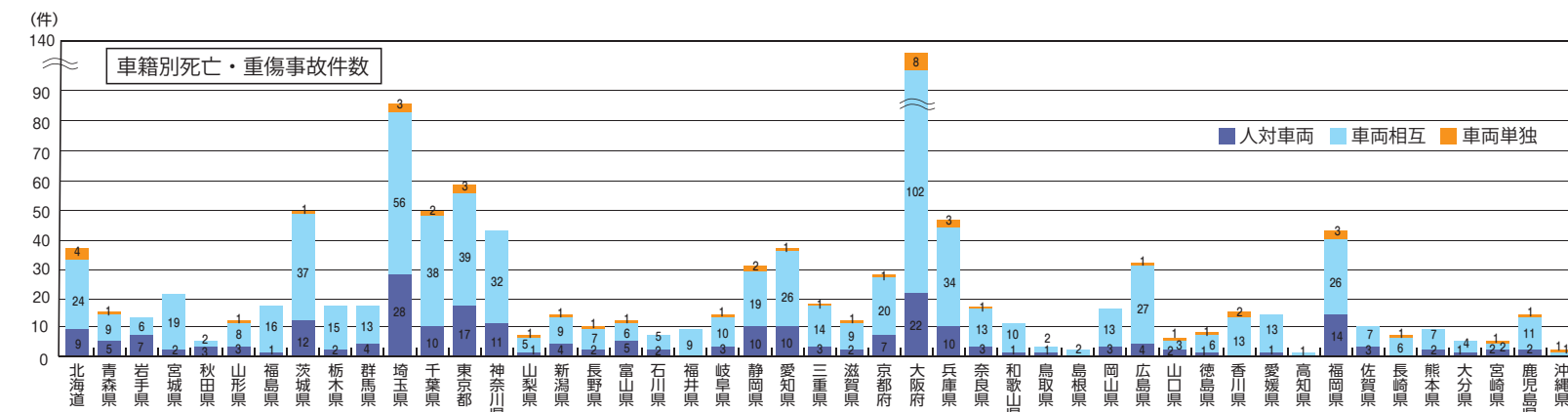
飲酒による人身事故件数は14件と、減少傾向にはあるものの飲酒運転根絶には至っていない。



### ◆車籍別死亡・重傷事故の発生状況

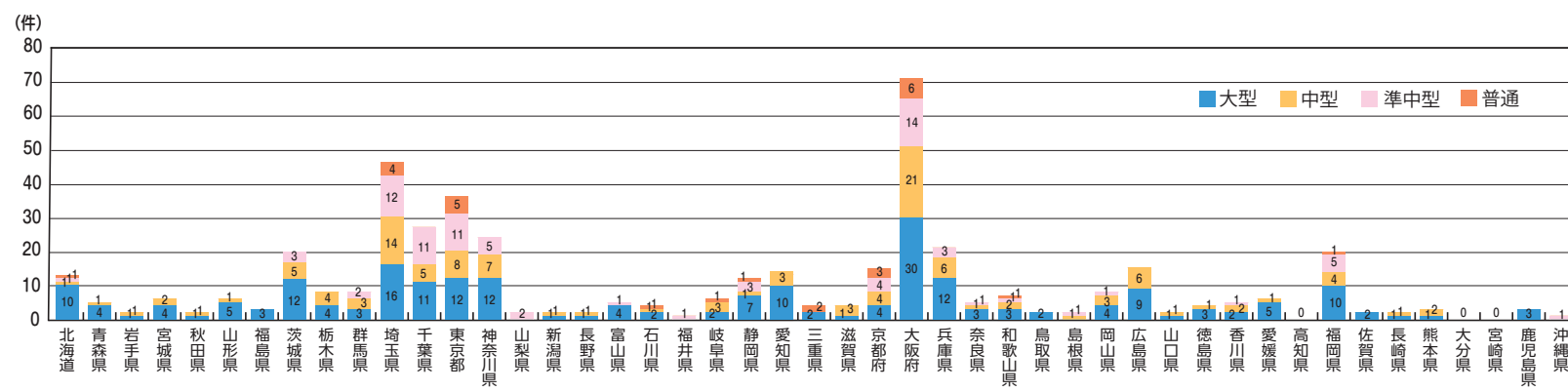
#### ●事故類型別

死亡・重傷事故を事故類型別で見ると、「車両相互」が多い傾向にあり、事故発生件数の多い順は、「大阪府」、「埼玉県」、「東京都」、「千葉県」、「茨城県」、「兵庫県」、「神奈川県」となっている。



#### ●交差点事故の車種区分別 (追突を除く)

交差点での事故件数が最も多いのは「大阪府」、「埼玉県」と続き、車種区分では「大型車」が全体の約半数を占める。



### ◆交差点における死亡・重傷事故(対歩行者・対自転車別)の発生状況

・事業用トラックが第1当事者となる交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故(280件)は、追突事故(191件)の約1.5倍

・「左折時」：8割以上が対自転車事故(92件)。一方の対歩行者事故(17件)では、約9割を大型が占める

・「右折時」：8割が対歩行者事故(76件)で、その7割以上が60歳以上。対歩行者・自転車事故ともに大型と中型が多く、全体の8割近くを占める

・「直進時」：対自転車事故(41件)、対歩行者事故(36件)ともに中型が多く、全体の約4割を占める

